



## 保護者・地域の皆様のご支援に 心から感謝申し上げます

校長 山崎 泰央

温かい陽ざしに校庭の桜も日に日にふくらみ、希望に満ちた春を迎えました。3月19日の第8回卒業証書授与式には、53名の卒業生が立派に智頭小学校を巣立っていきました。新型コロナウイルス感染症対策により式を縮小せざるを得ませんでしたが、何とか卒業生を温かく送り出したいという思いからサプライズプレゼントを贈りました。全職員で毎日練習を重ねた歌『明日へつなぐもの』を歌い、卒業生も喜んでくれて、思い出に残る卒業式となりました。また、私は、式辞の中で、はなむけの言葉として詩人 坂村真民の詩「自分の花」「生きることは」を贈りました。

自分の花 坂村真民  
小さい花でいいのだ  
人に褒められるような  
大きい美しい花ではなく  
誰からも足を止めて  
見られなくてもいい  
本当に自分自身の花を  
咲かせたらいいのだ  
・・・・・・〈略〉

生きることは 坂村真民  
生きることは  
自分の花を咲かせること  
風雪に耐え  
寒暑に耐え  
だれのものでもない  
自分の花を咲かせよう



何事にも真面目に一生懸命取り組んできた卒業生。花が大地に根を張って成長するように、目標を持って努力し、自分にしか咲かせられない美しい花を咲かせてほしいと願っています。来賓の皆様、保護者の皆様にも温かく門出を祝福していただき、心よりお礼申し上げます。

さて、この一年間の取組を通して、子どもたちは落ち着いて学校生活を送ることができるようになってきました。また、元気よく遊べるだけでなく、友達や下級生に優しく接したり相手と折り合いをつけたりする思いやりの場面もたくさん見られました。学習面でも、「分かった。出来るようになりたい。」という意欲が向上し、集中して学習に取り組む子どもが増えました。今後は、自分を律して行動する力、やらなければならないことに粘り強く取り組む力などを伸ばしたいものです。

私は、二年間校長として智頭の教育にあたり、この度定年退職を迎えることになりました。微力ではありましたが、歴代の校長先生方が築かれた校風を守る努力を続けて参りました。また、学ぶこと・努力すること・つながることの尊さを実感させる教育に取り組むとともに、子どもたちが夢や目標を持って前向きに生きる姿をめざし、普段の生活を整えることにも努めてきました。この間、保護者・地域の皆様から温かい言葉かけやひとかたならぬご支援をいただいたことが、学校経営の大きなエネルギーとなりました。心から感謝申し上げます。

毎日学校の前に立って徒歩通学やバス通学の子どもたちを迎えあいさつを交わす朝も、今日で最後だと思ふと寂しい気持ちになりましたが、明るく元気な子どもたちや協力的な保護者・地域の皆様と手を携えて学校づくりができたことは、この上なく幸せな日々でした。本当にありがとうございました。

皆様お一人お一人にお礼を申し上げるのが本意ではございますが、この学校便りを持ちましてお礼とお別れの言葉とさせていただきます。皆様の今後のご健康とご多幸、智頭町のますますの発展をお祈り申し上げます。